



富来行政センター前での出発式の様子



役場本庁舎での出発式の様子

非行や犯罪のない明るい社会を目指して

7月は社会を明るくする運動の強化月間で全国的に運動が展開されました。当町でも7月1日(金)、役場において、保護司の西田博子さんが法務大臣のメッセージを読み上げ小泉町長に手渡し、藤沢仁保護司会会長が活動状況を報告しました。

その後、7月5日(火)に富来中学校生徒会執行部の生徒と保護司のみなさんが富来行政センターで出発式を行いました。また、8日(金)は役場本庁舎で志賀中学校、志賀高校の生徒と保護司のみなさんで出発式を行いました。

出発式の後、街頭キャンペーンを行い、非行や犯罪のない社会づくりに協力を呼びかけました。



法務大臣のメッセージを読み上げる保護司



親の後を追う、カルガモのヒナ

カルガモ親子の散歩

6月22日(水) 富来領家町の住宅街にカルガモの親子がいると住民から連絡があり、現場に行きました。

カルガモは、池などの水があるところに生息するといわれています。近所の人たちは「なぜこんなところに」と驚いていましたが、親鳥とヒナたちの姿に癒された様子でした



交通安全子供自転車石川県大会で準優勝

7月3日(日)に金沢市で行われた「第43回交通安全子供自転車石川県大会」で団体の部において準優勝した高浜小学校の児童が、5日(火)役場を訪れ、穴田教育長に成績を報告しました。

大会には、石川県内から26校が出場し、高浜小6年生の泉明里さん、東冨香さん、島中優希さん、三野桜さん、山辺美咲さんが出場しました。

穴田教育長は、「これからも安全運転、交通ルールを守ることがを心がけてください」と話しました。



県大会2位を報告した高浜小学校の児童たち



熱戦を繰り広げた子どもたちの様子



表彰式の様子

志賀町子ども会相撲大会 団体戦で高浜小がV4

7月3日(日)に志賀町立堀松小学校において、第33回志賀町子ども会相撲大会が開催されました。町内8校の小学校が参加し、それぞれの学校で行った激しい練習でたくましくなった選手達が団体戦と個人戦で競い合い、土俵上で熱戦を繰り広げました。

また、今回の大会から1年生と女子5・6年生が新たに参加し、激しい火花を散らしました。

団体戦は高浜Bチーム(張原大斗、本正直弥、張原タ斗)が優勝し、4連覇となりました。その他の成績は次のとおりです。

(団体戦)

準優勝：土田A(川田隼也、西村嘉紀、谷口敢治)

第3位：堀松B(國部久史、加茂野隆也、湊端凌大)

高浜A：(浜辺朝日、赤芝龍洋、山本純平)

敢闘賞：富来A(落合優大、的場拓真、干場伸介) 堀松A(岩本品貴、坂本龍平、大門諒大) 下甘田A(松井僚祐、岡田 昭、東田拓海) 高浜E(北野堅太、西井十彌、高 哲大)

(個人戦)

男子1・2年生の部

優勝：石田陸人(土田) 準優勝：竹中 樹(上熊野)

3位：畠中義基(高浜)、道辻敬斗(土田)

男子3年生の部

優勝：中村泰之(下甘田) 準優勝：平澤祥人(高浜)

3位：瀬戸琉誠(堀松)、藤沢悠也(堀松)

男子4年生の部

優勝：岩本品貴(堀松) 準優勝：奥田琢朗(富来)

3位：浜辺朝日(高浜)、松井僚祐(下甘田)

男子5年生の部

優勝：赤芝龍洋(高浜) 準優勝：岡島 蓮(加茂)

3位：本正直弥(高浜)、井上寛人(土田)

男子6年生の部

優勝：干場伸介(富来) 準優勝：谷口敢治(土田)

3位：谷場凌太(志加浦)、大門諒大(堀松)

女子5・6年生の部

優勝：平澤仁美(高浜) 準優勝：道辻あいみ(土田)

3位：山下優菜(下甘田)、仕入柚奈(富来)

わんぱく相撲

6月26日(日)能美市の物見山総合体育館相撲場において行われた「第15回わんぱく相撲石川ブロック大会」に出場し、「わんぱく相撲全国大会」(7月31日、東京・両国国技館)への出場を決めた志賀相撲教室の選手が、7月6日(水)役場を訪れ、小泉町長に県大会での活躍の報告と、全国大会での健闘を誓いました。

県大会では、団体戦で羽咋チームとして出場した干場伸介君(富来小6年)、赤芝龍洋君(高浜小5年)、國部久史君(堀松小4年)の3人が優勝し、学年別の個人戦では、干場伸介君が優勝、谷場凌太君(志加浦小6年)、赤芝龍洋君、奥田琢朗君(富来小4年)が3位になりました。

小泉町長は「大会のサブタイトルにあるあきらめない心と思いやりを胸に、優勝目指してがんばってください」と激励しました。



小泉町長に県大会での活躍の報告と全国大会の健闘を誓う選手たち



全国大会での活躍が期待される赤芝龍洋君(左)と國部久史君(右)



全国大会での団体戦と個人戦の両方に出場し活躍が期待される干場伸介君

第32回志賀町自衛消防隊操法大会

7月10日(日)に志賀町防災公園(西山台)で第32回志賀町自衛消防隊操法大会が行われました。

今大会には、地域や企業など14隊18チームが参加し、小型ポンプ操法の技術を競い合いました。

気温が30℃を超え、真夏日となったこの日。選手たちにとっては、つらい日となりましたが、日頃の訓練の成果を発揮すべく精いっぱい頑張っていました。

大会の成績は次のとおりです。

優勝 今市自警団 準優勝 米町自警団
敢闘賞 安津見自警団、末吉自警団B、上野自警団A



小型動力ポンプ操法

堀松小学校で避難訓練

7月11日(月)に堀松小学校で、津波を想定した避難訓練が行われました。堀松小学校は、海からの距離が約3.5kmと近く、海拔は3.5mの位置にあり、町内の小学校の中で一番低い場所に建っています。

避難訓練が始まると、地震発生後に机の下に隠れるなど迅速な行動で身の安全を確保したあと、先生からの「押さない、走らない、しゃべらない」の指示を受けながら近くの高台にある旧志賀中学校跡地へ避難しました。児童たちは、真剣な表情で訓練を行っていました。



真剣な表情で避難訓練をする児童



熱戦の様子

北信越綱引大会

7月10日(日)に志賀町総合体育館で東日本大震災チャリティーとして北信越綱引大会が行われました。大会は男子の部、女子の部、ジュニアの部、混合の部の4部門に19チームが出場しました。

男子の部では、東日本大震災の被災地である宮城県南三陸町の綱引チーム「志津川コマンド」から数名が参加するなど、熱戦が繰り広げられ、チャリティー大会として大いに盛り上がりました。

また、女子の部では地元のスパーク志賀が優勝しました。

高浜保育園の園児がヒラメの稚魚を放流

7月20日(水)、高浜保育園の年長組の園児28人が、千鳥ヶ浜海岸においてヒラメの稚魚を放流しました。

この放流は、南建設(株)が県水産総合センター志賀事業所から2,000匹の稚魚を用意し、地域貢献の一環として行ったものです。

大きなバケツにヒラメの稚魚を入れ、波打ち際で放流すると、園児たちはヒラメの稚魚が元気に海を泳いでいく姿を笑顔で見守っていました。園児たちは「小さな魚が大きくなって戻ってくることを楽しみにしています」と話していました。



ヒラメの稚魚を放流する園児たち



福浦港地区の虫送りの様子



富来高田地区の虫送りの様子

納涼虫送り

7月11日(月)、福浦港で約50年ぶりに虫送り行事が行われました。虫送りとは、昔、農村などで農作物(特に稲)につく害虫を追い払う目的で行った行事です。

また、7月16日(土)、富来高田で納涼虫送り大会が行われました。富来高田青年会、富来公民館長からの注意事項などを聞いた後、竹に火をつけて、太鼓や鉦の音と共に田んぼ道を練り歩きました。参加者は「しんむしゃゆけ、どろむしゃゆけ」と元気よく大きな声で行進し、稲に付く害虫を追い払いました。



大連大学の学生たちに郷土料理を教える室谷さん

室谷加代子さんが中国の大連大学で特別講義

6月、中国の大連大学が、農家レストラン経営者で郷土料理研究家の室谷加代子さん(福浦港)に、日本文化を学習する学生を対象とする特別講義を依頼してきました。

室谷さんは6月20日～22日まで中国に滞在し、大連大学で郷土料理について講義をしたり、学生たちと調理をしたりしました。

室谷さんは「学生たちの勤勉さに驚きました。講義で習った料理を今度は自分たちだけで作ると言ってくれたのがうれしかったです」と話しました。

志賀高校で壮行式

7月15日(金)、全国高校野球選手権大会石川大会に出場する野球部と第49回全国高等学校ライフル射撃競技選手権大会に出場する射撃部、第58回全国高等学校レスリング選手権大会の個人戦に出場するレスリング部の壮行式が志賀高校において行われました。

壮行式では、出場する選手が抱負を話し、山口嘉一校長が「120パーセントの力が発揮できるよう頑張ってきてください」と激励しました。



壮行式の様子

能登リゾートエリアで浜開き

7月15日(金)、能登リゾートエリア増穂浦の海水浴場で浜開きが行われました。地元区長や警察、消防などの関係者が出席し、(株)志賀町振興サービス山王竹夫専務取締役が「無事故で快適な海水浴場として、多くの人に利用してほしい」と話し、お神酒を海にまいて安全とにぎわいを祈願しました。



お神酒を海にまく(株)志賀町振興サービス山王竹夫専務取締役
広報しか 7